

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 3 年 5 月 11 日

宮崎県知事 殿



提出者

住 所 宮崎県延岡市旭町四丁目3400番地1

氏 名 旭化成株式会社

ベンベルグ工場 工場長

矢野 達也

電話番号 0982-22-4001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	旭化成株式会社 ベンベルグ工場
事業場の所在地	宮崎県延岡市旭町四丁目3400番地1
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

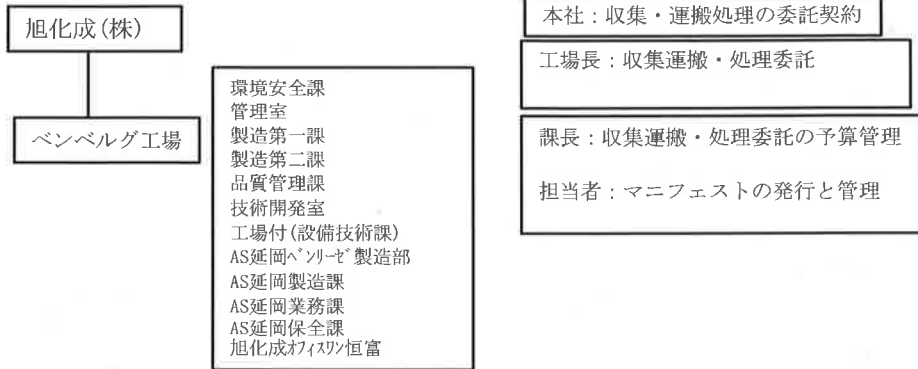
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	16 化学工業
② 事業の規模	旭化成(株) 資本金 1033億8852万1767円
③ 従業員数	325人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別図参照 廃アルカリについてはNH3回収工程部より

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度 (R 2 年度) 実績】		
	①現状	特別管理産業廃棄物の種類	別紙①参照
排 出 量		別紙①参照 t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙②参照	
	排 出 量	別紙②参照 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) マニフェスト種類毎に分別
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状と同じ

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度 (R 2 年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度 (R 2 年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（ R 2 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ R 2 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙①参照	
	全処理委託量	別紙①参照 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙①参照 t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙①参照 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙①参照 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙①参照 t	t
	(これまでに実施した取組) ・20年度は、工程トラブルにより多量排出となった。		

(第5面)

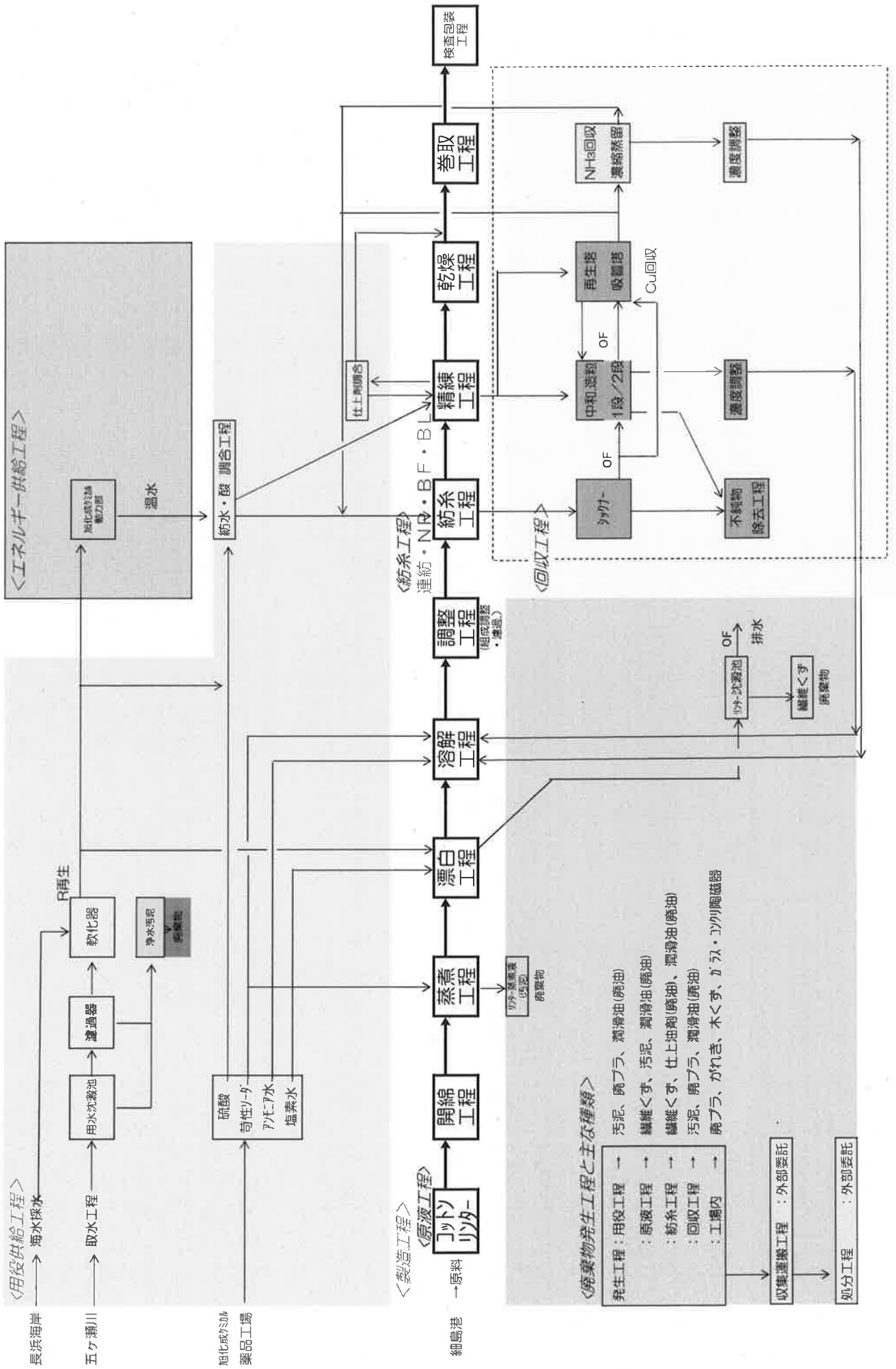
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙②参照	
	全 処 理 委 託 量	別紙②参照 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙②参照 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙②参照 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙②参照 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙②参照 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 21年度は例年通り 2 t 程度の予定である。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度 (R 2 年度) 実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	1017.17	t
	(今後実施する予定の取組等) ・ 20年度はトラブル発生により、特管廃アルカリを多量に排出したが、通常の発生はない。今後は工程管理を確実に実施していく。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

別図① バンベルグ工場 廃棄物処理フローシート



別紙①現状 20年度実績

	排出量	自ら熱回収	全処理委託量	優良認定委託量	再生利用委託量	認定以外熱回収
10燃殻	7.760	0	7.760	0	0	0
20汚泥	20,621.333	18,341.810	2,279.523	2,180.260	533.960	1,736.793
30廃油	231.122	0	231.122	119.480	195.375	35.747
40廃酸	0.640	0	0.640	0	0.540	0.100
50廃アルカリ	0.232	0	0.232	0	0.232	0
60廃プラ	132.515	0	132.515	0	118.135	14.380
80木くず	10.360	0	10.360	0	10.360	0
90繊維屑	1,761.310	0	1,761.310	739.950	1,016.950	744.360
120鉄くず	20.761	0	20.761	0	20.761	0
130ガラス屑	1.570	0	1.570	0	1.570	0
251電池類	0.421	0	0.421	0	0.421	0
252蛍光灯	1.322	0	1.322	1.322	1.322	0
256廃水銀	0.005	0	0.005	0.005	0.005	0
小計	22,789.351	18,341.810	4,447.541	3,041.017	1,899.631	2,531.380
特管						
	排出量	自ら熱回収	全処理委託量	優良認定委託量	再生利用委託量	認定以外熱回収
720廃アルカリ(12以上)	0.970	0	0.970	0	0	0.970
730感染性廃棄物	0.880	0	0.880	0	0	0.880
742特管汚泥	0.090	0	0.090	0.090	0	0.090
742特管廃アルカリ	1,015.230	0	1,015.230	1,015.230	137.980	877.250
小計	1,017.170	0	1,017.170	1,015.320	137.980	879.190
741PCB	0.065	0	0.065	0	0.065	0
合計	23,806.586	18,341.810	5,464.776	4,056.337	2,037.676	3,410.570

※自ら再生利用、自ら減量、自ら埋立、認定熱回収⇒なし

別紙②計画 21年度予想

	排出量	自ら熱回収	全処理委託量	優良認定委託量	再生利用委託量	認定以外熱回収
10燃殻	14.000		14.000	14.000	14.000	0
20汚泥	28,690.470	26,401.240	2,289.230	2,189.544	545.041	1,744.189
30廃油	299.344		299.344	154.748	253.045	46.299
40廃酸	137.359		137.359	0	115.897	21.462
50廃アルカリ	0.332		0.332	0	0.332	0.000
60廃プラ	137.359		137.359	0	122.453	14.906
80木くず	5.675		5.675	0	5.675	0
90繊維屑	2,004.363		2,004.363	842.060	1,157.285	847.078
120鉄くず	20.761		20.761	0	20.761	0
130ガラス屑	1.570		1.570	0	1.570	0
251電池類	0		0	0	0.000	0
252蛍光灯	1.322		1.322	1.322	1.322	0
256廃水銀	0		0	0	0	0
小計	31,312.555	26,401.240	4,911.315	3,201.674	2,237.381	2,673.934
特管						
720廃アルカリ(12以上)	0.970		0.970	0	0	0.970
730感染性廃棄物	0.880		0.880	0	0	0.880
742特管汚泥	0.090		0.090	0.090	0	0.090
742特管廃アルカリ	0		0	0	0	0
小計	1.940	0	1.940	0.090	0	1.940
741PCB	0.200		0.200	0	0.200	0
合計	31,314.695	26,401.240	4,913.455	3,201.764	2,237.581	2,675.874

※排出数量は環境PDで集計した21年度の量を記載
 ※優良認定量、再生利用、認定外熱の振り分けは20年度実績の割合をそのまま乗じた。